

令和7年12月26日

バリアフリー化に関する優れた取組を行う 「社会福祉法人ながよ光彩会」が内閣総理大臣表彰を受賞！

内閣府の実施する「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」において、無人駅における乗降介助を含む駅管理業務を請け負うほか、駅利用者・住民同士の助け合い促進を目的とした研修の実施など、心のバリアフリーを推進する各種活動により、地域の安心・安全の確保や賑わい創出に取り組んだ「**社会福祉法人ながよ光彩会**（長崎県西彼杵郡長与町）」が『**内閣総理大臣表彰**』を受賞しましたのでお知らせします。

九州運輸局からの推薦では“初”の受賞となります。

1. 「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」の概要

内閣府では、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、平成13年度に「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰制度」が創設されました。

2. 表彰の種類

＜内閣総理大臣表彰＞

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる個人又は団体

＜内閣特命大臣表彰（優秀賞・奨励賞）＞

特に顕著な功績又は功労があったと認められる個人又は団体

3. 「社会福祉法人ながよ光彩会」の取組みの概要

「無人駅における社会福祉法人の乗降介助業務等の受託を契機とした、心のバリアフリー推進活動とまちづくり」

※取組みの概要については、別紙をご参照ください。

※その他の受賞者や表彰式の詳細等については、内閣府ホームページをご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/r07hyoushou/index.html>

【お問い合わせ先】

運輸と観光で九州の元気を創ります

九州運輸局 交通政策部 共生社会推進課

担当：田中（たなか）、金元（かなもと）

電話：092-472-2333

E-mail：qst-syogyo@ki.mlit.go.jp



社会福祉法人ながよ光彩会

無人駅における社会福祉法人の乗降介助業務等の受託を契機とした、心のバリアフリー推進活動とまちづくり

●取組の概要

2023年9月より、一部時間帯(正午以降)無人駅となるJR長与駅構内に、カフェ・ショップ機能等を持つ「GOOOOOOOD STATION(グッドステーション)」を開設し、簡易委託により駅における乗降介助・改集札・案内・清掃の業務を請け負うなど、高齢者や障害者を含む全ての人が安心して駅を利用できる取組を継続して実施している。

○医療・介護分野のノウハウを持つ社会福祉法人であることを活かし、乗降介助業務を受託している。鉄道会社から外部の社会福祉法人への乗降介助業務の委託は先進的な事例である。



白杖使用者の介助



車椅子使用者の介助

○障害当事者や長与町、JR九州等に働きかけ、長与駅および停車中の鉄道車両を使用して、地域住民や一般企業等の様々な属性の方を対象に、無人駅における助け合いを促進することを目的とした、座学とロールプレイングで「心のバリアフリー」を学ぶ研修プログラム(ユニバーサルアクションプログラム)を実施している。

○このほか、駅構内に開設したカフェ・ショップの運営や福祉・観光と連携した様々な取組により、安心安全の確保や、賑わいの創出等の地域活性化にも取り組んでいる。



ユニバーサルアクションプログラム



駅構内に併設されたカフェ



観光列車『ふたつ星4047』のおもてなしの様子